

2022年 10月 2日 《 誕 生 祝 福 式 》

主 日 礼 拝

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②小山美枝子姉

賛 美 聖歌392番 ～衣のすそにでも～

使徒信条

聖書朗読 マルコによる福音書5章25～34節

特別賛美 「We are Children of God」 Monica Scott

メッセージ 「イエス様は神の子 私たちも神の子」

～Jesus is the Son of God, we are a child of God～

石井 潤 牧師

献 金 聖歌592番 ～み手の中で～

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～平和初めて知った～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝致します！今週も主の守りと助けをお祈り致します！

☆今週の祈り会：○早天祈禱会：明朝6時～。◎祈禱会：木曜午前10時半～／
夜7時半：大和祈禱会ライブ映像に参加。 ○準備祈禱会：土曜夜8時～。

★来週の礼拝では聖餐式が行われます。〈司会：石井秀人兄/祈り：白川達男兄〉

◇予告：10月16日(日) 12:30～ 「秋の召天者記念礼拝」◇

☆一年に一回聖書を完読できる！Bible Reading Plan〔10/2ー/9〕

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	イザヤ 31-33	34-36	37	38-40	41-42	43-44	45-47	48-49
新約	エペソ 1	2	3	4	5	6	ピリピ 1	2
チェック	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇

「イエス様は神の子 私たちも神の子」

～死の向こう側にある永遠の希望～

「しかし、彼を受け入れた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。それらの人は、血すじによらず、肉の欲によらず、また、人の欲にもよらず、ただ神によって生れたのである。」
ヨハネによる福音書1章12-13節

クリスチャンたちがその名で呼ばれる前は、「神の子」と呼ばれていたそうです。私たちが救い主として信じているイエス・キリスト様は「神の子」であるということは良く分かりますが、それを信じる私たちをも同じように「神の子」であるということを聖書は語ります。

私たちは「人の子」としてこの世に誕生します。しかし、それは肉体であって、肉体はやがては土に帰る存在ですが、その本質である霊は、生まれ変わることができます。救い主であるお方を信じて、神の力によって生まれ変わるのです。そして、生まれ変わったならば、その私たちの本質は、神と共に生きる者となります。永遠に。それが、このヨハネによる福音書1章で語られている内容です。

多くの生き物たちの中で、人間だけが、埋葬する習慣があります。それは、人間だけに与えられた永遠を想う心によるものだと言われています。私たち人間は一人残らず希望を求めています。永遠に無くならない、変らない希望です。その希望を与えるために、イエス様はこの世に来られました。そして、多くの奇蹟を行ない、希望を語りました。そして、最終的に十字架につけられて死なれましたが、三日目にその死を打ち破られて復活され、永遠に生きておられるお方です。「死」は究極的な絶望です。しかし、主イエス様は、その究極的な絶望に勝利して、絶対的な「希望」を私たちに与えてくださいました。

日本では、仏式でお葬式をしても、「天国でまた会いましょう！」と亡くなった方に対して語ります。それは、永遠の希望を求めている人々の心の現れであると感じます。

主イエス様は最後の晩餐でのメッセージの中で「私こそ天国への道である！」と語られて、実際にその道となられました。私たちは信仰によって、天国を信じ、見つめるのです。

「わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。」

このヨハネ14章27節も最後の晩餐でのメッセージのお言葉ですが、この地上に残される弟子たちへの遺言でもありました。彼らはこれから大迫害の時代に突入していきますが、どんな暗闇の現実の中にあっても、主が与えてくださる特別製の「平安」が与えられていることを忘れてはならないということです。正直私たちは弱い存在ですから、心がバラバラになり、臆病になってしまう存在です。しかし、そんな弱い私たちを強め、支えてくださる主がおられることを決して忘れずに、永遠の希望に向かって進んで行きたいと願いお祈りいたします！